

<参考> 大阪府新型コロナウイルス対策本部専門家会議委員意見

②イベント・府有施設等の再開及び府立学校における教育活動の再開方針の再検討について

委員	意見
朝野座長	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの自粛は有効であり、先週の段階では大阪府のほとんどの患者がクラスター内に吸収されたと考えられた。 ・クラスターの制圧状況からイベントの再開は可能な状態であったが、クラスターの制圧ができたために、感染経路不明の患者が増えてきていることがみえてきた。 ・イベントを再開すると、新たな患者がイベントによるものか、感染経路不明のものなのか解析が難しくなる。そこで、感染経路不明の感染者に対して有効な対策がわかるまでイベントの再開を待つ。 ・しかし、感染経路不明の多くは対策も不明であることも予測されることから、新たな対策が判明すれば、イベントを安全な形で再開する。 ・新たな対策がわからなければ、その間に医療体制を整備して、その段階でイベントを再開する。
掛屋副座長	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模クラスター形成の特徴は「密室空間・換気不十分」「近距離での会話・発声」「ヒトの密度が高い」等に特徴付けられ、イベントや活動の自粛は感染患者の増加に一定の効果があったと考えられる。 ・一方、感染ルート不明の伝播原因や感染者の特徴がまだ明らかとなっていない。解決策を慎重に考えるべきである。患者数が限られる地域ではイベントや活動の自粛の解除も許容されると考えるが、大阪府下では感染ルート不明の患者が増加しているようであれば、現時点でイベントや教育活動の再開を延期することは妥当と考える。数週間、慎重に経過をみてみるのが手段と考える。

※砂川オブザーバーからの意見

新型コロナウイルスについては、時間が経つごとに判断の指標が一つでなくなっており、今後、何か判断が必要になったときは、様々な指標、いろいろな知見に基づいた判断をお願いしたい。